

No.1 教育環境整備事業

〔申請部署:高校教頭、中学教頭、教務部、事務室〕

【必要性・目的、実施計画等】

《必要性・目的》

本校の体育館は、体育の授業や部活動はもとより、式典や学校説明会等の各種行事で活用しているが、かなりの老朽化が進んでいる。この体育館は、新耐震基準(建築確認1981年6月1日以降の適用)にて竣工した建物であるが、経年により状況が変化している可能性があることから、2024年度に耐震診断および評定委員会における評定書取得を実施した。2025年度には、エアコンの設置、アリーナ等照明の更新(LED化)、バスケットゴール更新工事ならびに耐震補強工事の為の設計を実施。2026年度においては、利用者が更に安全で快適に使用できるよう耐震補強工事を実施する。

また本校では、「授業力」と「生徒たちが将来必要なICTスキル」を向上させることを狙いに、2015年度からICT教育に必要な機器を導入・整備してきたが、一部教室の電子黒板設備が老朽化していることから、機器の更新を行う。

《実施計画》

- (1) 体育館の改修
体育館耐震補強工事
- (2) ICT教育用機器の更新
普通教室等27教室分の電子黒板設備の更新

【具体的指標・効果（成果検証）】

- ・教育環境の改善による、生徒や保護者の満足度向上。
- ・体育館は、オープンスクールや学校説明会でも使用しており、改修工事を行うことで入試広報面での向上にもつながりたい。
- ・電子黒板システムの更新により、生徒の教育環境が維持・向上できる。また、能動授業、協働学習、反転授業、適応学習、探究型学習などといった学習体系に向けて活用することで、教育効果の向上が期待できる。

No.2 生徒の学びの個別最適化による能力向上と教員のリスキリング・リカレント教育
〔申請部署:高校教頭、中学教頭、進路指導部、教育探求部〕

【必要性・目的、実施計画等】

《必要性・目的》

2026年度より、Well-beingの向上と教員の働き方改革の一環として、生徒・保護者・教員がより有意義な土曜日の時間確保や活用を目的に、土曜日授業を廃止する。

生徒には、自学習、資格・検定取得、部活動、課外活動など主体的に取り組ませたいと考えている。また、教員に対しては、「探究」と「創造」を育む新しい教育を進めるうえで、個々の教育力や教育研究の向上を図る。

《実施計画》

(1) 生徒:土曜日特別プログラムの実践

- ①K¹タイム(自習室)の運営:自主学習の習慣化、進路意識の向上を目的とした学習空間の提供
- ②資格・検定取得講座:英検・IELTS・数検など取得支援講座の開講、進路に活かす力を育成
- ③DX人材育成プログラム講座:プログラミング、データサイエンス、生成AI活用などの基礎スキルを習得

(2) 教員・生徒:探究教育の深化、DX人材育成の実践

- ①探究・デジタル教材の研究開発、DX人材育成の推進:探究活動に適した教材開発、ICT・デジタル教材の活用研究、生成AIの活用
- ②大学・その他教育機関との連携強化:高大連携による探究テーマの深化、外部講師の活用
- ③校内研修、他校視察、海外研修:教員の経験資質と指導力の向上

【具体的指標・効果（成果検証）】

- (1) 大学進学実績、生徒の学習意欲・進路意識の向上
- (2) 教員の指導力・教育力の向上による授業の質的改善
- (3) 学校全体の教育力の向上

生徒・教員双方の成長による学校ブランド力強化、地域・大学・企業連携による教育の社会的価値向上